

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター

宮崎県健康増進課

宮崎県衛生環境研究所

■ 宮崎県第13週の発生動向

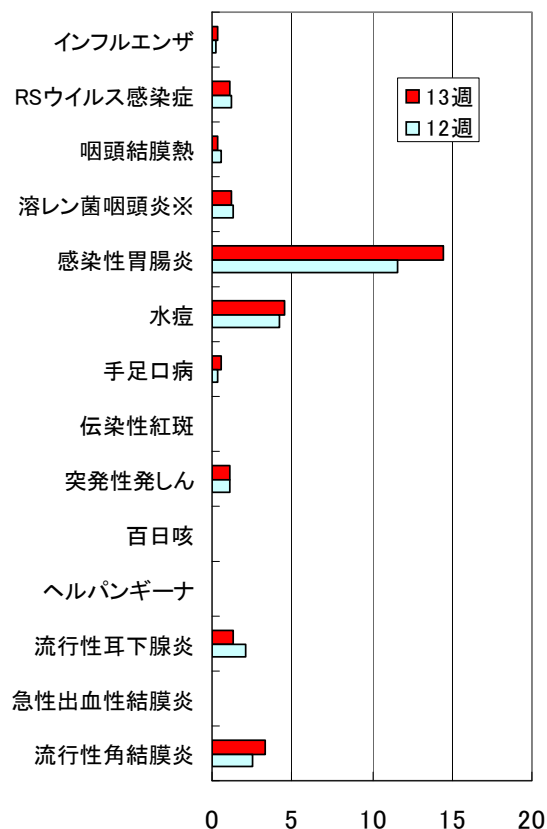
定点医療機関からの報告総数は932人（定点あたり28.5）で、前週比113%と増加した。

前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘であった。

感染性胃腸炎の報告数は523人（14.5）で前週比125%と増加したが、例年同時期の定点あたり平均値（15.8）の約9割である。小林（35.7）・都城（22.2）保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では1歳から5歳で全体の約6割を占めた。

水痘の報告数は164人（4.6）で前週比108%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（3.8）の約1.2倍と多い。延岡（8.5）・日南（8.0）保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では1歳から4歳で全体の約7割を占めた。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
感染性胃腸炎	20	14.5	小林(35.7)、都城(22.2)	1歳～5歳で全体の約6割を占めた。
水痘	7	4.6	延岡(8.5)、日南(8.0)	1歳～4歳で全体の約7割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 2 例が宮崎市・都城 (各 1 例) 保健所から報告された。
《宮崎市保健所》・80 歳代の男性で肺結核。食思不振、体重減少がみられた。
《都城保健所》・80 歳代の男性で疑似症患者。痰がみられた。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : ○ウイルス性肝炎 (EB ウイルス) 1 例が宮崎市 (1 例) 保健所から報告された。20 歳代の女性で発熱、肝機能異常、胃痛、頸部・腹部のリンパ節腫脹、扁桃腫脹がみられた。
○ウイルス性肝炎 (B 型) 1 例が都城保健所から報告された。20 歳代の女性で全身倦怠感、嘔吐、発熱、肝機能異常がみられた。

■ 全国第 12 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 14.4 で、前週比 79%と減少した。例年に比べ増加した主な疾患は流行性耳下腺炎と手足口病であった。

流行性耳下腺炎の報告数は 3,483 人 (1.2) で、前週比 100%であった。例年同時期の約 1.4 倍である。沖縄県 (2.8)、山形県 (2.7)、石川県 (2.5) からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 6 歳までが全体の約 6 割を占めた。

手足口病の報告数は 1,105 人 (0.37) で、前週比 88%と減少したが、例年同時期の約 2.6 倍である。広島県 (2.4)、鹿児島県、岡山県 (各 1.9) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 3 歳で全体の約 7 割を占めた。

□全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 227 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 2 例、腸管出血性大腸菌感染症 12 例、パラチフス 1 例
- 4 類感染症 : A 型肝炎 13 例、つつが虫病 1 例、デング熱 3 例、レジオネラ症 9 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 9 例、ウイルス性肝炎 1 例、急性脳炎 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 14 例、梅毒 8 例、破傷風 1 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、麻しん 4 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2010年 第13週(03月29日～04月04日)

疾病名		第12週	第13週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	14	17	1	5	1		1	3			6
	定点あたり	0.24	0.29	0.06	0.50	0.14	0.00	0.20	0.50	0.00	0.00	3.00
RSウイルス 感染症	報告数	43	39	3	4	17	2		6		7	
	定点あたり	1.19	1.08	0.30	0.67	4.25	0.67	0.00	1.50	0.00	1.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	20	11	1	3	1	4				2	
	定点あたり	0.56	0.31	0.10	0.50	0.25	1.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	49	44	6	11	10	2	1	5		6	3
	定点あたり	1.36	1.22	0.60	1.83	2.50	0.67	0.33	1.25	0.00	1.50	3.00
感染性胃腸炎	報告数	418	523	96	133	26	39	107	56	6	50	10
	定点あたり	11.61	14.53	9.60	22.17	6.50	13.00	35.67	14.00	6.00	12.50	10.00
水痘	報告数	152	164	33	31	34	24	12	6		21	3
	定点あたり	4.22	4.56	3.30	5.17	8.50	8.00	4.00	1.50	0.00	5.25	3.00
手足口病	報告数	12	20	8	1		1	4	2		4	
	定点あたり	0.33	0.56	0.80	0.17	0.00	0.33	1.33	0.50	0.00	1.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	3		2				1			
	定点あたり	0.03	0.08	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	39	39	12	6	5	6	1	4		5	
	定点あたり	1.08	1.08	1.20	1.00	1.25	2.00	0.33	1.00	0.00	1.25	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		5	1	3			1				
	定点あたり	0.00	0.14	0.10	0.50	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	74	47	2	3	13	1	5	2		21	
	定点あたり	2.06	1.31	0.20	0.50	3.25	0.33	1.67	0.50	0.00	5.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	15	20	19	1							
	定点あたり	2.50	3.33	6.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週～13週)

2類感染症	結核	39例(2)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例			
4類感染症	つつが虫病	1例	レジオネラ症	1例	
5類感染症	ウイルス性肝炎	5例(2)	急性脳炎	3例	後天性免疫不全症候群
	梅毒	2例	破傷風	2例	麻しん

()内は今週届出分、再掲

こども感染症情報

嘔吐下痢症（感染性胃腸炎）に注意しましょう。（3月29日～4月4日）

嘔吐下痢症（感染性胃腸炎）の報告数は減少していましたが、今週また増加してきました。地域別では小林市、都城市周辺からの報告が多く、警報レベルを超えています。5歳以下の子どもたちが多く感染しています。

この病気は、ウイルスや細菌などに感染することによっておこる急性の胃腸炎で、嘔吐と下痢が主な症状ですが、熱が出たり、おなかが痛くなることもあります。嘔吐や下痢によって脱水症を起こすことがありますので、水分補給に努めましょう。

感染を予防するためには、石けんと流水による手洗いが最も重要です。トイレの後、調理や食事の前には必ず手を洗いましょう。嘔吐物や便を処理するときには、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、汚物はできるだけペーパータオル等を利用して拭き取りましょう。汚れた床や畳なども漂白剤を染み込ませたペーパータオル等で拭きましょう。下痢等の症状が改善した後も、原因の病原体が便中に排出されることがあるので注意しましょう。

水ぼうそうは延岡市、日南市周辺からの報告が多く、警報レベルを超えています。1歳から4歳の子どもたちが多く感染しています。